

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	電磁シールド品質検討小委員会		主 査 名：木村 健一 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (電磁環境運営委員会)		委員長名：羽山弘文 主 査 名：川瀬隆治
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	電磁シールド性能検討によりその維持管理のための指針の策定 2015 年度：概要とフレーム及び目次の策定など 2016 年度：暫定ドラフトの作成など 2017 年度：学会内部及び外部関連団体との調整検討など 2018 年度：指針の策定		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：木村健一 (フジタ)、幹事：小熊直樹 (大林組)、委員：吉野涼二 (環境調査事務所)、安藤一宏 (鹿島環境サービス)、田代英太 (波動システム)、遠藤利明 (巴コーポレーション)、福田 (トーキン EMC)、菊池真人 (技研工業)、山根俊博 (清水建設)、鈴木宏和 (熊谷組)、西村俊哉 (日本板硝子環境アメニティ)		
設置 WG (WG 名：目的)	無		
2016 年度予算	5,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無
講習会	無
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	無
大会研究集会	無
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	無
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 指針の基礎となる試験手順を整理し、新たなデータの取得を行った 2. 暫定ドラフトのアウトラインについて検討した
委員会活動の問題点 ・課題	1. 委員の日程調整がうまくいかず、委員会の開催が予定に達しなかった 2. 指針の肉付け部分である現業に携わる委員の意見の吸い上げが不十分 3. 上記点に配慮して、次年度から委員を増員する予定

## 2016 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
<p style="text-align: center;">総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>当初の計画に比べて委員会の開催回数が半分以下にとどまったため、予定していた活動が行えなかった。これは、委員の日程調整がうまくいかなかったことに一因がある。しかしながら、指針の肉付け部分となる試験データの取得などは予定通り進み、その中で新たな課題も明らかになってきた。</p> <p>今後は、現業に係わる新たな方の参加や、各委員への役割分担を明確化して、個別で進捗できる体制を構築するなどして、指針策的に向けて進めていく予定である。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。